

令和 6 年度「熊本大学病院医療助成金」使用実績報告書

(一般財団法人恵和会寄附金)

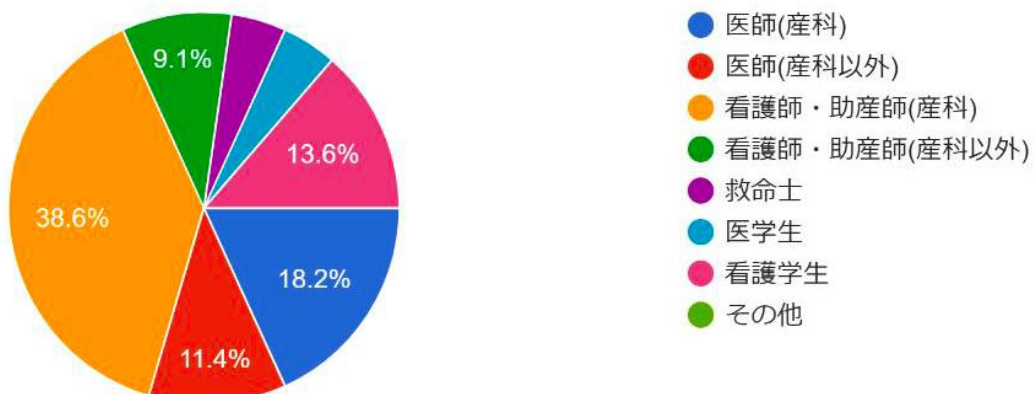
使用者 (代表者)	氏 名	所 属	職 名
	齋藤文誉	熊大病院産婦人科	診療講師 (医局長)
グループ全員 * 記入欄が 不足するため、 別紙1に記入	近藤英治	熊大病院産婦人科	教 授
	大場 隆	熊大病院産婦人科	准教授
	岩越 裕	熊大病院産婦人科	助 教
	杉田道子	熊大病院麻酔科	特任教授
	小川克大	熊大病院救急部	助 教
活動テーマ	第1回産科救急メディカルラリーin熊本 産科救急医療のスキルアップおよびリクルート活動		
助成金額	500,000 円	助成金使用総額	500,000 円
【使用内訳】 消耗品 160,888円 (内訳) ビブス、ネームホルダー、用紙等 備 品 258,570円 (内訳) 撮影映像カメラ その他 80,542円 (内訳) 弁当・飲料代 (ボランティアスタッフ用)			
【成 果】 (※具体的な効果および自己評価も含め1,000字程度) 熊本県の分娩取扱医師偏在指数は全国worstであり、産婦人科医師の高齢化と減少も相まって、産科婦人科医療体制は厳しい状態が続いている。熊大産婦人科では、この現状を打破すべく、人材の確保・育成と臨床・研究・教育に全力を挙げて取り組んでいる。今回、取り組みの一つとして、熊本県の産科救急医療のスキルアップとリクルートを兼ね、熊本初の『産科救急メディカルラリー』を8/31 (土) に熊本大学病院臨床研修センターで開催した。 当院を含む県下の4つの周産期母子医療センター (熊本大学病院、熊本市民病院、熊本赤十字病院、福田病院) から、医師2名、助産師、看護師の4人で構成されたチームがそれぞれ参加し、事前に作成された3つの産科救急シナリオ (①分娩中の羊水塞栓症による母体心肺停止 ②分娩後会陰縫合中の局所麻酔中毒 ③未受診妊婦の産科危機的出血) に対して診察や処置を行い、その的確さや職種間の連携などを競った。 企画の中では、ボランティアスタッフとして募集した救命救急士、看護師、初期研修医、医学生に、模擬患者役やタイムキーパー、シナリオに対する処置や職種間の連携の評価を行う役を担ってもらった。 総勢123名の参加者となり、メディアの取材も相まって盛会に終えることができた。企画後の参加者 (プレイヤー) およびボランティアスタッフとして参加した看護師、救急救命士、初期研修医や医学生を対象としたアンケート調査では、「産科救急医療の実際を学習しスキルアップにつながった。」や「これまで以上に産婦人科医療への興味が深まった」などの声をいただいた。 本企画によって、初期研修医、医学生においては、産婦人科医療への興味を持ってもらうよいリクルートの機会となり、産婦人科医、救急救命医、助産師、看護師にとっては、スキルアップにつながる活動ができたと考えており、今後の継続した活動が期待される。 本活動の企画・運営に携わっていただいた全ての方々に感謝申し上げます。			

グループ全員の氏名・所属・職名

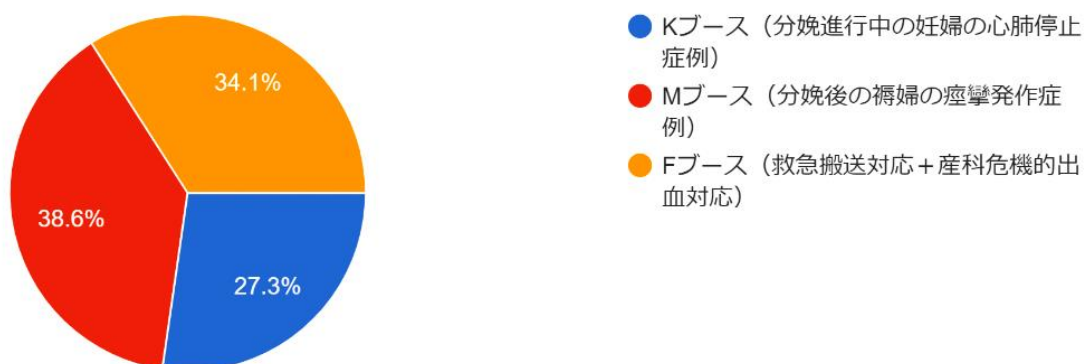
氏 名	所 属	職 名
河上 祥一	福田病院 産婦人科	医 師
赤坂 威史	熊本市民病院 救急科	医 師
尾崎健太郎	済生会熊本病院 救急部	医 師
田口 弘美	熊本大学病院 産婦人科	看護師
榎 建斗	熊 本 市 消 防 局	救命救急士

アンケート集計結果

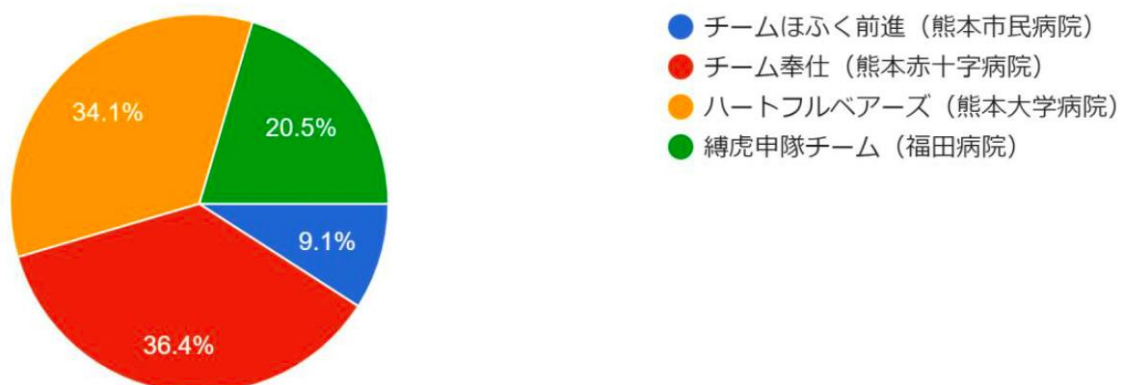
1. 職種



2. ブース別評価表



3. チーム別評価表



4. 参加者の感想

たくさん準備してくださりありがとうございました。
ブースごとにシナリオが違うので難しい部分かもしれませんが、30秒停止するのも曖昧なブースとしっかりカウントして停止するブースと異なることがあったり、事例提供の時点で環境物品を確認できるところとできないところなど異なったので、動きづらい部分がありました。
今回参加するにあたり、勉強できたり、医師とコミュニケーションをとる機会になり、ありがたかったです。参加できてよかったです！ありがとうございます。
お忙しい中、準備いただきこのような会を開催いただいてありがとうございます産科救急を学ぶいい機会になりました。
大会当日だけでなく、練習期間も含めて改めて勉強する機会になりました。症例も実際起こりうる可能性のあるものだったため、振り返り臨床に活かしていきたいと思います。
主催の先生方、たくさんのサポーターのみなさま、本当にありがとうございました。
またぜひ継続してください。
今日の学びを自施設のスタッフに共有したいと思います。ありがとうございました。
現在産科に携わってないですが、こういう見学の機会があり今後の搬送などの対応に役立てたい。即座対応大事ですね!!
実際のシミュレーションをするだけでなく、日々の鍛錬が大切だと思いました。
産科、小児科のない病院で働いているが、職員に妊婦さんも在籍するため、知識を少しでも貰えて有意義なラリーでした。
大変勉強になりました。ありがとうございました。
楽しい経験をさせてもらいありがとうございました
産科・救急ともに大変勉強になりました。ボランティアとして参加させていただきましたが、上述のとおり、大場先生をはじめ、上級生の先輩方など皆さんから多くのことを直接教えていただくことができ、大変有意義な会でした。羊水塞栓に対してどのようにアプローチしていくか、4つのグループの実際の様子から、様々なことを学ぶことができました。各病院の「カラー」がよく表れていて、みていてとても興味深かったです。
私は産婦人科医を強く志望していますから、これから開かれるイベントにも積極的に参加して、学生という立場(まだ臨床医学にも触れていない未熟な段階)ではありますが、継続して先生方からたくさんのことを学びたいと思っています。今後とも、よろしくお願いいたします。
産科救急は、なかなか学生の内には触れる機会が無いため、初めて知る事も多くとても勉強になりました。今回のみの開催とならず、今後も継続的に開催していただきたいと思います。貴重な機会をいただきありがとうございました。
貴重な勉強の時間となりました。ありがとうございました。
私たちの問いかけに答えられなかった場面があり、何をすべきかわからない時間がありました。私が慣れていないことも影響していると思いますが、実践中に質問づらいこともあるので対応していただければありがたかったです。また、想定に「バイタルサイン評価後」と記載があったにもかかわらず、入室したら「まだ測定していない状況」であったり、ルートをとっているときに会話もできなかったり、事前にわからない点もあると気づきました。運営・準備などして頂き、ありがとうございました。

貴重な時間でした。勉強になります。
救急の場面は数は多くなくとも、迅速な対応が求められるので、今回の見学がとても勉強になりました。また自己学習のためのモチベーションに繋がったと感じます。
とても学びになりました。産科が救急部や手術部、救急隊など様々な方に支えられていること、チーム医療の大切さを改めて感じました。
お昼ご飯を食べる場所や飲み物を買う場所が分かりにくかった。
イベントへのご意見やご感想がありましたら、お聞かせください。
ギャラリーが多く緊張します
緊張しましたが、産科救急のいい経験になった。
県内の関連施設に、均等に情報を流してほしい。

5. 競技写真

【熊本大学チーム：ハートフルベアーズ】



【熊本市民病院：チームほふく前進】



【熊本赤十字病院：チーム奉仕】



【福田病院：縛虎申隊】



【運営・ボランティアスタッフ】

